



# 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年10月30日

上場会社名 株式会社 王将フードサービス  
コード番号 9936 URL <http://www.ohsho.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡邊 直人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 広報部長 (氏名) 内田 浩次

TEL 075-592-1411

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	38,475		2,538		2,636		1,710	
29年3月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 2,287百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	91.35	
29年3月期第2四半期		

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期第2四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	65,273	44,980	68.9
29年3月期			

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 44,980百万円 29年3月期 百万円

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成29年3月期の数値は記載しておりません。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		60.00		60.00	120.00
30年3月期		60.00			
30年3月期(予想)				60.00	120.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,696		5,680		5,947		3,895		208.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 平成30年3月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率は記載しておりません。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	23,286,230 株	29年3月期	23,286,230 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	4,563,459 株	29年3月期	4,563,459 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	18,722,771 株	29年3月期2Q	18,921,371 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、以下のとおり機関投資家及びアナリスト向けの説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成29年11月29日(水)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会(大阪)

・平成29年11月30日(木)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会(東京)

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

＜ 連結経営成績サマリー ＞			
	金額	構成比	前年同期比(参考)
売上高	38,475 百万円	100.0 %	2.5 %増加
営業利益	2,538 百万円	6.6 %	4.8 %減少
経常利益	2,636 百万円	6.9 %	7.5 %減少
親会社株主に帰属 する四半期純利益	1,710 百万円	4.4 %	5.5 %減少
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 全店客数前年同期比1.4%減(既存店3.5%減)…直営店実績</li> <li>・ 既存店売上高対前年同期比0.4%増収…直営店実績</li> </ul>			

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善などを背景に各種政策の効果もあって、緩やかな回復基調が続いており、世界経済においても政策効果に支えられた中国経済の持ち直し、資源価格の上昇、米国における在庫調整の進展等を背景に緩やかな回復が続いております。しかしながら、地域紛争や国際テロに起因する地政学リスクが顕在化し、諸外国の政策に関する不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があるなど、先行きは決して予断を許さない状況にあります。

外食業界におきましては、外食売上高が13ヶ月連続プラスとなったものの、東京での21日間連続降雨や台風列島縦断など天候不順による客足への影響や、長雨・日照不足による野菜価格の高騰、最低賃金改定や人手不足等による三大都市圏のフード系アルバイト時給の過去最高更新等から、商品価格を引き上げる企業が相次ぐなど、先行きは依然厳しい見通しとなっております。

このような状況下当社グループは、これまで3年をかけて取り組んできた労働環境の整備をベースに営業力強化を図るべく4つの営業方針(「店頭をスッキリさせる」「店舗を美しく保つ」「お客様へ歓迎が伝わる接客を行う」「料理のスタンダードを守る」)を定め、QSCの向上に取り組んでまいりました。さらに職務権限と責任の明確化、効率化とスピード化、各部門の連携強化を図る為の4本部制(営業・総務・人事・製造)の導入や、それらを統括し戦略機能を担う「経営戦略本部」の新設、店舗社員の教育を担う「王将大学」の設立など、全員が一致団結し、ブランド価値向上を目指す組織体へと改変をいたしました。それらに加え、「創業50年お客様感謝キャンペーン」等販促効果も相俟って、7月からの3ヶ月連続で直営全店売上高が同月比で過去最高を更新することができ、創業50周年を迎えるにあたり、更なる飛躍への一步を踏み出すことができました。

また、台湾1号店「餃子の王将 高雄漢神巨蛋店」は、連日ご盛況を得ており、売上高は期初の計画に対し200%を超え、大変好評を博しております。このような状況を踏まえて、台湾における更なる展開に備えるべく、当該子会社への増資を実施いたしました。

株主の皆様には、配当性向50%の株主還元方針をお示しし、実質利回りの向上により当社株式への投資魅力を高めるとともに、株主様に中長期的に保有していただくことを目的として株主優待制度を拡充いたしました。

今の当社があるのはステークホルダーの皆様のおかげであるという感謝の気持ちを忘れず、お客様から「褒められる店」を目指し邁進して参ります。

当第2四半期連結累計期間の店舗展開の状況につきましては、直営11店、F C 1店の新規出店を行っております。これにより第2四半期末店舗数は、直営497店、F C 232店となりました。

#### ① 売上高

売上高は、来店客数は減少となりましたが、客単価アップが寄与しており、直営店既存店売上高が増収となった上、新店効果も相俟って、384億75百万円（前年同四半期比2.5%増）となりました。

#### ② 営業利益

営業利益は、人件費や減価償却費の増加等もあり、25億38百万円（前年同四半期比4.8%減）となりました。

#### ③ 経常利益

経常利益は、上記理由等により、26億36百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

#### ④ 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、上記理由等により、17億10百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。

なお、当社は前第2四半期累計期間では四半期財務諸表を作成しておりましたが、第1四半期連結会計期間より子会社「王将餐飲服務股份有限公司」及び「株式会社王将ハートフル」の事業活動を開始したため、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。従いまして、前年同期間との比較は前第2四半期累計期間の個別四半期財務諸表と比較した前年同四半期比を参考として記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、652億73百万円となりました。

流動資産は、141億95百万円となりました。主な内訳は現金及び預金が119億26百万円です。

固定資産は、510億77百万円となりました。主な内訳は土地が208億57百万円、建物及び構築物が142億83百万円です。

#### (負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、202億92百万円となりました。

流動負債は、166億17百万円となりました。主な内訳は短期借入金が50億円、1年内返済予定の長期借入金が29億38百万円です。

固定負債は、36億75百万円となりました。主な内訳は長期借入金が22億34百万円です。なお、借入金の残高は101億72百万円となりました。

#### (純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、449億80百万円となりました。主な内訳は利益剰余金が383億12百万円です。以上の結果、自己資本比率は68.9%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、119億18百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、24億49百万円(前年同四半期比43.2%減)となりました。主な要因は未払消費税等の減少であります。

主な内訳は、税金等調整前四半期純利益26億48百万円に減価償却費15億24百万円等を加えた額から、未払消費税等の減少額5億17百万円、法人税等の支払額9億11百万円等を減じた額であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、11億27百万円(前年同四半期比26.2%減)となりました。主な要因は有形固定資産の取得による支出の減少であります。

主な内訳は、有形固定資産の取得による支出11億39百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、12億66百万円(前年同四半期比71.1%減)となりました。主な要因は自己株式の取得による支出の減少であります。

主な内訳は、借入金の純減少額1億43百万円による支出、配当金の支払額11億23百万円による支出であります。

なお、当社は前第2四半期累計期間では四半期財務諸表を作成しておりましたが、第1四半期連結会計期間より子会社「王将餐飲服務股份有限公司」及び「株式会社王将ハートフル」の事業活動を開始したため、第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しております。従いまして、前年同期間との比較は前第2四半期累計期間の個別四半期財務諸表と比較した前年同四半期比を参考として記載しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当初(平成29年5月15日決算発表時)の見通しに対して、業績予想は変更しておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)	
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	11,926
売掛金	406
商品及び製品	119
原材料及び貯蔵品	377
その他	1,400
貸倒引当金	△34
流動資産合計	14,195
固定資産	
有形固定資産	
建物及び構築物	51,992
減価償却累計額	△37,708
建物及び構築物(純額)	14,283
機械装置及び運搬具	5,585
減価償却累計額	△3,066
機械装置及び運搬具(純額)	2,518
工具、器具及び備品	5,453
減価償却累計額	△4,475
工具、器具及び備品(純額)	978
土地	20,857
建設仮勘定	237
有形固定資産合計	38,875
無形固定資産	118
投資その他の資産	
投資有価証券	6,372
差入保証金	4,172
その他	1,562
貸倒引当金	△22
投資その他の資産合計	12,084
固定資産合計	51,077
資産合計	65,273

(単位：百万円)

当第2四半期連結会計期間  
(平成29年9月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	2,042
短期借入金	5,000
1年内返済予定の長期借入金	2,938
未払法人税等	1,202
賞与引当金	912
その他	4,521
流動負債合計	16,617
固定負債	
長期借入金	2,234
資産除去債務	743
その他	697
固定負債合計	3,675
負債合計	20,292
純資産の部	
株主資本	
資本金	8,166
資本剰余金	9,031
利益剰余金	38,312
自己株式	△10,823
株主資本合計	44,686
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	3,866
土地再評価差額金	△3,554
為替換算調整勘定	△1
退職給付に係る調整累計額	△15
その他の包括利益累計額合計	294
純資産合計	44,980
負債純資産合計	65,273

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

	(単位：百万円)
	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	38,475
売上原価	11,616
売上総利益	26,858
販売費及び一般管理費	24,320
営業利益	2,538
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	31
F C加盟料	61
受取地代家賃	33
雑収入	58
営業外収益合計	185
営業外費用	
支払利息	12
貸貸費用	30
災害義援金	36
雑損失	8
営業外費用合計	87
経常利益	2,636
特別利益	
固定資産売却益	0
収用補償金	36
特別利益合計	36
特別損失	
固定資産除却損	24
特別損失合計	24
税金等調整前四半期純利益	2,648
法人税、住民税及び事業税	973
法人税等調整額	△35
法人税等合計	937
四半期純利益	1,710
非支配株主に帰属する四半期純利益	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,710

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,710
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	584
為替換算調整勘定	△1
退職給付に係る調整額	△5
その他の包括利益合計	576
四半期包括利益	2,287
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	2,287
非支配株主に係る四半期包括利益	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間  
(自平成29年4月1日  
至平成29年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	2,648
減価償却費	1,524
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	5
受取利息及び受取配当金	△32
支払利息	12
収用補償金	△36
固定資産売却損益(△は益)	△0
固定資産除却損	24
たな卸資産の増減額(△は増加)	△56
仕入債務の増減額(△は減少)	49
未払消費税等の増減額(△は減少)	△517
その他	△317
小計	3,305
利息及び配当金の受取額	32
利息の支払額	△12
収用補償金の受取額	36
法人税等の支払額	△911
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,449
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の増減額(△は増加)	1
有形固定資産の取得による支出	△1,139
有形固定資産の売却による収入	0
貸付けによる支出	△24
貸付金の回収による収入	25
差入保証金の差入による支出	△69
その他	78
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,127
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	2,249
長期借入金の返済による支出	△2,393
配当金の支払額	△1,123
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,266
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	53
現金及び現金同等物の期首残高	11,741
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	124
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,918

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より子会社「王将餐飲服務股份有限公司」及び「株式会社王将ハートフル」の事業活動を開始したため、連結の範囲に含めております。